

議題 1

平成29年5月24日
学校教育部指導第一課
学校教育部指導第二課

平成29年度学校経営支援システムの実施について（報告）

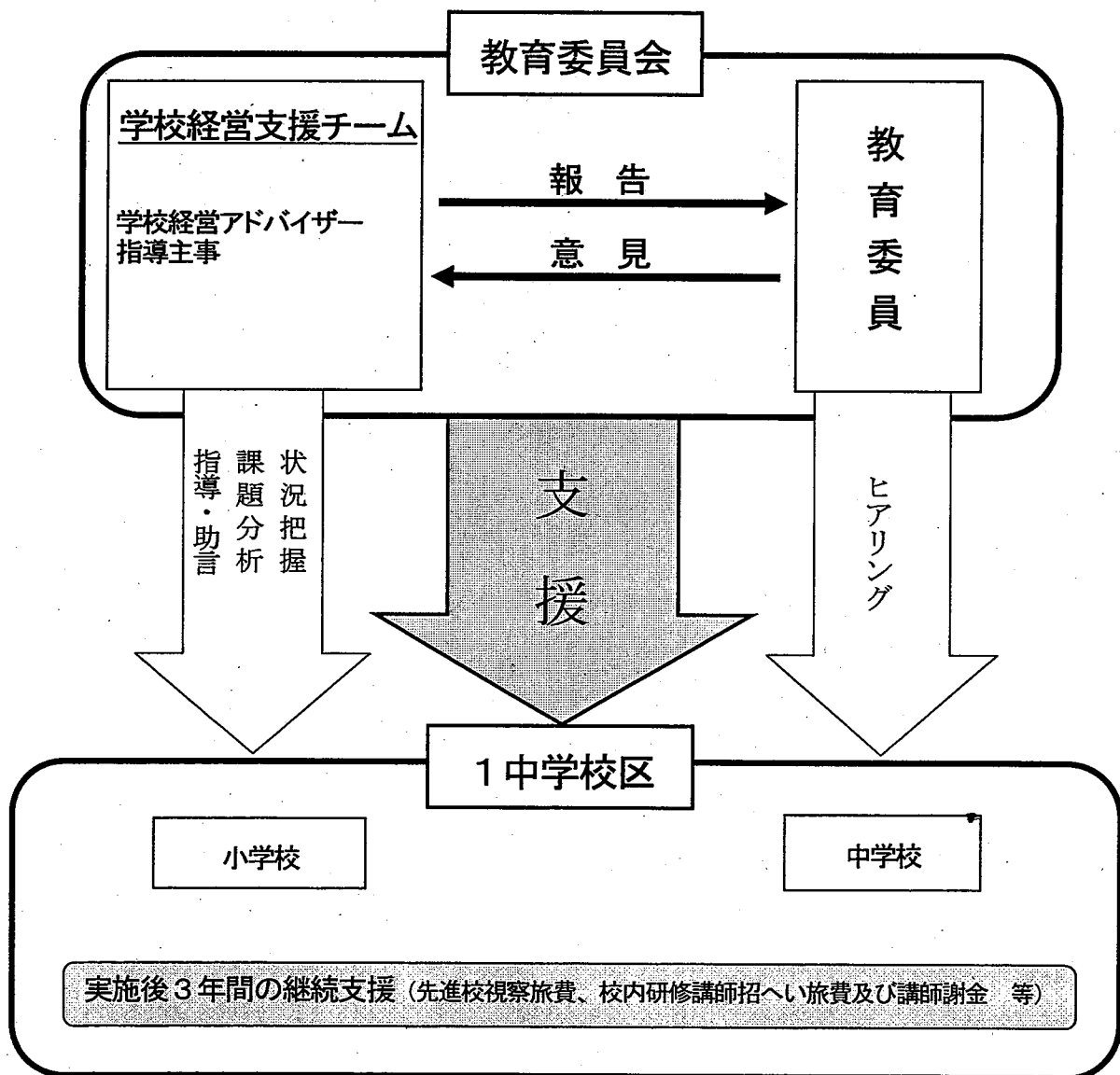
1 学校経営支援システムについて

(1) 目的

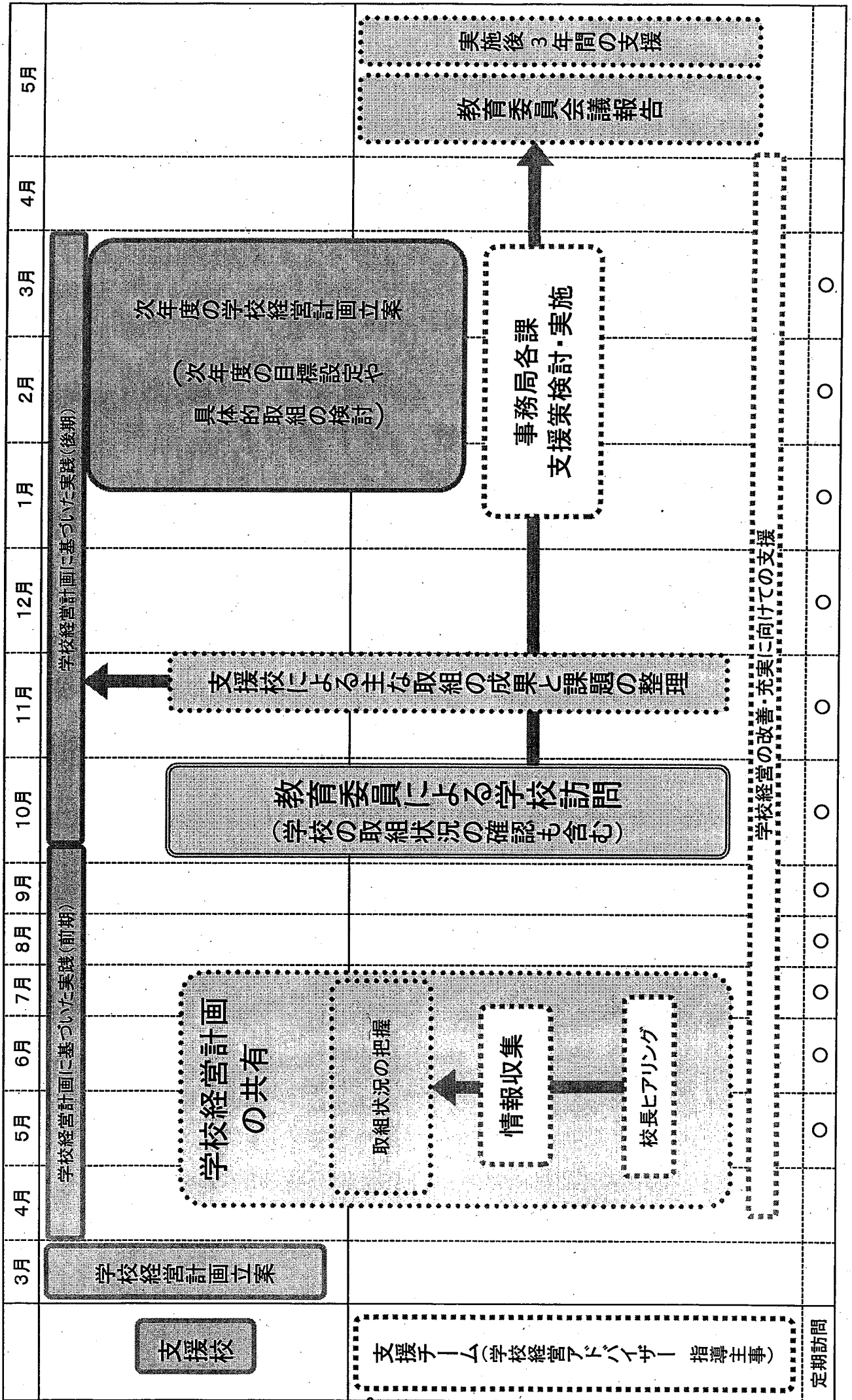
校長の学校経営について、学校経営支援チームによる課題分析や教育委員からの意見を踏まえながら、その改善や充実に向けた具体的な支援を行うことにより、実効性のある学校経営の実現を図る。

(2) 実施体制

(イメージ図)



2 平成29年度 年間スケジュール



3 平成29年度祇園東中学校区（祇園東中・原小・原南小）における重点取組（各学校の学校経営計画より抜粋）

	評価項目	意見提言	重点取組
祇園東中学校	授業づくり	「協同的な学び」を継続するに当たり、現状の課題を整理し、これまでの実績を踏まえつつ、継続する必要性を教職員が共有し、新たな目標を設定する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全教員が日常的に他の教員の授業を参観し、互いに「協同的な学び」についての認識を深める。 ○ 「基礎・基本」定着状況調査や全国学力・学習状況調査の調査結果を活用し、授業改善に生かす。 ○ 「協同的な学び」についての研究を深めるために、年6回の学年授業研修会、年3回の全体授業研究会、年1回の公開授業研究会を実施する。
	生徒指導	各小学校と密接に連携を図り、きめ細かな配慮や指導を継続していく必要がある。 中学校区でつきたい力を家庭・地域に示すとともに、生徒の学力向上に対する具体的な取組を行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度に引き続き、三校連絡校長会を月1回実施する。 ○ 地域連携担当（生徒会部長）を位置づけ、生徒による地域での奉仕活動を組織的に実施する。 ○ 教育相談を学期に2回、いじめアンケートを2ヶ月に1回実施する。 ○ まちぐるみ「教育の絆」プロジェクトを活用したり、早朝学習や暮会学習を実施したりして、生徒の学力向上に向けた取り組みの充実を図る。
<p><学校経営の現状と教育委員会による支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本年4月より、自校昇任した校長は、本校の「協同的な学び」の取組が形骸化していることから、改めて取組の理念を教職員に説明し、元校長を講師とした研修会を実施するとともに、精力的に授業観察を行うなど、研究をリードしている。 ・ 学校経営支援システムにおける講師謝礼金等の予算措置や指導主事の派遣により、「協同的な学び」の取組を支援するとともに、まちぐるみ「教育の絆」プロジェクトの指定を行い、基礎学力の向上及び生徒や保護者ボランティアによる「花いっぱい運動」等を支援する。 			

	評価項目	意見提言	重点取組
原小学校	授業づくり	ユニバーサルデザインの視点に立った授業展開について、全職員が具体的にイメージできるような研修が必要である。 どの教科にとっても国語が基本となるので、言語活動に力を入れる必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインの視点に立ったわかりやすい授業を追究する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の流れや学習のポイントを視覚化する。 ・ 授業のねらい及び学習内容を焦点化する。 ※ 28年度末に講師を招聘し、校内研修を実施。 ○ 国語科の授業改善に向けて、年間7回の校内授業研究会を実施する。
	生徒指導	連絡協議会で、中学校区としてつきたい力を話し合い、共有する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 祇園東中学校区の4つの取組ができる子どもの育成を図る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;">4つの取組</div> <ul style="list-style-type: none"> 〔あいさつをする。 掃除をきちんとする。〕 〔時間を守る。 整理整頓ができる。〕
<p><学校経営の現状と教育委員会による支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校全体で「ユニバーサルデザインの視点に立ったわかりやすい授業」の追究ができるよう、学校経営計画の中心に「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教育の推進」を位置づけ、全ての教員が重点目標として意識できるようにしている。 ・ 平成29年度は、国語科におけるユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりへの意識統一を図るため、年間7回実施される研究授業に対して、指導主事が指導助言を行う。 			

	評価項目	意見提言	重点取組
原南小学校	授業づくり	<p>めあてと到達目標を連動させ、子どもと教師がつけたい力を共有する授業を目指す必要がある。</p> <p>実践力のある教員による師範授業を公開し、全教員で授業を観察する機会を定期的に持つ必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ めあてを精選して学習内容の焦点化を図るとともに、授業の最後に学習のまとめとめあての達成についての評価を確実に行う。 ○ 授業中に意見をつなぐ場面を意図的に設けることで、自分の考えを伝え合うことができるようにする。 ○ 実践力のある教師による授業公開や協議会を行い、授業づくりの参考となる機会を設け、教師の授業力向上に努める。(年4回以上の全体研修を実施する。)
	生徒指導	<p>組織的な生徒指導ができるような生徒指導体制の確立が必要である。</p> <p>教師が意識統一して指導に当たる必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業づくりや学級経営等について、教員同士が学び合う「原南学習会」を実施し、本校の児童の実態に即した生徒指導についての実践力を高める。 ○ 基本的な生活習慣の確立と感謝の気持ちを素直に表現できる児童を育てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「くつをそろえる」意義を伝え、実践することを通して、落ち着いて行動する習慣を身に付けさせる。 ・ 挨拶目標を段階的に明確に設定する。 ・ 掃除道具の扱い方や掃除の仕方を視覚的に提示し、教職員とともに掃除を行う。
<p><学校経営の現状と教育委員会による支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ めあてと達成目標を連動させ、何を学び取らせるのかを明確にした授業づくりを行うために、学習内容の焦点化とめあて達成の評価を行うことを学校経営重点目標に位置づけ、学校全体で意識統一している。 ・ 平成29年度は、学力面や生徒指導面の課題改善に向けて、年間4回以上実施する研究授業に対して指導主事が指導案検討及び指導・助言を行う。 			

中学校区全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度に引き続き、毎月の校長会を中学校長の主導により実施する。 ○ 今年度新たに生徒指導主事会を立ち上げ、9年間を見通した生徒指導に関する「きまり」を定め、発達段階を踏まえた細やかな指導体系を作る。 ○ 授業づくりについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 「協同的な学び」に特化せず、9年間を見通して、各学校の実態を踏まえた児童相互の「かかわり」を大切にする授業づくりを行う。 ・ 「豊かで深い学び」の具現化を目指し、手立てを検討する。
-----------	--

平成 29 年度 学校経営支援システム実施希望申出書

中 学 校 区	亀山 中学校区
校 長 名	(亀 山) 中学校 校長 (松田 裕二) (亀 山) 小学校 校長 (宮本眞弥子) (亀山南) 小学校 校長 (白石 隆) () 小学校 校長 () () 小学校 校長 () () 小学校 校長 ()
希望する理由	<p>亀山中学校では、昨年度広島県の生徒指導実践対策指定校の指定を受け、生徒指導上の課題解決に向けて取り組み、一定の成果をあげることができた。さらに今年度は、広島市の学力向上推進事業の「個に応じた指導推進校」の指定も受け、学力の向上に向けて取り組んでいるところである。</p> <p>亀山中学校区の2つの小学校は、それぞれが特色ある取組をしており、必要に応じて連携を取っているが、9年間を見据えた取組においては十分とは言えない。</p> <p>そこで、中学校を中心に各学校体制における学校経営を見直し、小中学校が連携して学力の底上げを図るとともに、生徒指導体制の充実を目指していきたい。</p>
特に支援、意見・提言を受けたい事項	<p>○授業改善を中心とした学校体制の強化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校経営方針の共有化 ・ 校内組織の活性化 ・ 授業改善に向けた人材育成 <p>○小中連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校と連携した研修会の持ち方や3校の生徒指導主事による定期連絡会の在り方 ・ 9年間の子どもの成長の捉え方や各校の取組の関連付け <p>○家庭や地域との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒指導の初期対応と保護者連携の在り方
備 考	

※ 備考欄は、学校経営アドバイザー、指導主事による学校評価の実施にあたって、特に参考となることがあれば記述してください。